

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890101243
法人名	株式会社メディックス
事業所名	グループホーム パートナーハウスやまがき
所在地	松山市下伊台町1293番3
自己評価作成日	平成28年11月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年12月13日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自立支援を促すことができるように、家事的援助を入居者様自身でしていただけるように努めている。  
また認知症の理解を深めて、入居者様と本音でお話ができるようにコミュニケーションを取ることを重点に置き支援するように工夫している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営推進会議を活かして、メンバーと利用者で交流する「認知症カフェ」を試した。利用者にとって懐かしいような話で会話が弾んだようで、管理者は今後も機会を見て継続していきたいと話していた。  
管理者が家族とのやり取りの窓口になっており、丁寧に話を聞いてくれることに家族は安心を感じている。毎月活動等を知らせる便りをつくっており、個別に近況や健康面について記入する欄を設けている。  
運営推進会議の後で家族に集まってもらい、要望等を聞き取るように取り組んでいる。敬老会やクリスマス会の折には、家族にも案内して一緒に過ごせるよう支援している。  
9月から事業所内勉強会を実施しており、職員が交代で担当して取り組んでいる。

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. <b>ほとんどいない</b>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 パートナーハウスやまぶき

(ユニット名) つつじ

記入者(管理者)

氏名 宮田 亜希

評価完了日 28年 11月 30日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)  伊台地区という土地の中で、地域の方々と顔見知りになり交 流を深めていけるように管理者、職員共に努めている。	
			(外部評価)  9月に、事業所内勉強会をはじめて行い、まず「会社の理念 と介護の基礎」について理解を深めた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)  非常時や異常時に協力していただける体制を依頼してい る。	
			(外部評価)  10月のハロウィンには、地域の子供達に来てもらい、利用 者からお菓子を手渡す等して交流できるよう支援した。組内 の役員の方が集金に来たり、自治会長や民生委員の方が運 営推進会議に参加しており、顔を合わす機会を重ねている。	
				さらに、地域のいろいろな立場の方に事業所のことを知って もらえるような取り組みを積極的にすすめてほしい。事業所 の有用性や専門性を知らせたり、地域からも事業所に期待 することを聞かせてもらう等しながら、協力し合える関係をつ かっていってほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)  運営推進会議時、事業所で活動報告をしている。地域の方 や他事業所の方に理解をしてもらえるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に参加して頂いている方からの意見を可能な限り反映していけるようにしている。認知症カフェを事業所内で開催し雑談も含めた楽しい話げできた。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>毎回、利用者状況や活動報告を行い、その後、勉強会を行っている。家族には全員に案内を出し、3~4名の参加がある。又、地区の介護事業所で相互参加をしている。会議を活かして、メンバーと利用者で交流する「認知症カフェ」を試した。利用者にとって懐かしいような話で会話が弾んだように、管理者は今後も機会を見て継続していきたいと話していた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必要な情報は管理者が窓口となり連携を図っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時に、市や地域包括支援センターの管理者の参加があり、事業所の現状について聞いてくれている。管理者は、この一年間の内に、センターの協力を得て「認知症サポーター養成講座を開きたい」と話していた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者様の生活の維持の為できる限り拘束は行わないようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>社内研修や運営推進会議時の勉強会で、虐待や身体拘束について勉強している。玄関は、内側の壁上部に電子ロックを設置しており、職員が操作して開けるようになっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 日々の業務の中で、入居者様に対しての接遇や対応について職員同士でその都度話し合いを行うようにしている。先輩、新人関係なく意見が出せ入居者様が安心して生活できるように目配りしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 入居者様の中に成年後見制度を利用されている方がおられる。その方を取り巻いている環境を理解し、安心して生活が保持できるように努めている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 主に施設管理者が行っており、情報はユニットの管理者や職員へ共有して本人様や家族様の不安を取り除けるようにしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議を開催した際に意見をもらいそれを反映するようにしている。 (外部評価) 管理者が家族とのやり取りの窓口になっており、丁寧に話を聞いてくれることに家族は安心を感じている。毎月活動等を知らせる便りをつくっており、個別に近況や健康面について記入する欄を設けている。運営推進会議の後で家族に集まってもらい、要望等を聞き取るように取り組んでいる。敬老会やクリスマス会の折には家族にも案内して一緒に過ごせるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>月に1度の職員ミーティングを行っている。その中で、運営会等の申し送り事項を伝えている。日々の業務の中で疑問に感じたことや提案を伝えて反映できるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者が年2回、職員個々と面談をして悩みや要望等を聞き取っている。9月から事業所内勉強会を実施しており、職員が交代で担当して取り組んでいる。日頃は、先輩職員が指導に当たっている。レクリエーションの得意な新人職員は、レクリエーション内容の改善案を積極的に出して他職員と話し合いながら実践に活かしている。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>職員の面談を定期的に行いコミュニケーションを取ることで仕事のやりがいや不安、改善点などを話している。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>社内研修や社外の研修を通知、参加をしてもらいスキルアップへつなげてもらっている。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>同地区の他事業所と連携のため各事業所の運営推進会議に参加している。</p>	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>管理者、職員が一丸となり初めての利用における不安を取り除ける雰囲気づくりを心掛けている。情報共有を密に行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>上記同様に、不安を取り除けるような雰囲気を作り、また要望などを確認し信頼関係を作れるようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前にカンファレンスを行い、何を第一に考えられているか職員同士で話し合っている。 実際のサービス利用時には目配りと気配りを心掛けている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員には同じ人間同士であることを基本的な考えと指導し、人生の先輩として教えを聞き、力を貸してもらえるようにと意識の統一を図っている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>認知症の理解をして、本人様と家族様のこれまでの関係をホームで活用していけるように努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者様の環境について職員間で共有し、馴染みの人や場所といつでも繋がれるように努めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>年末には、家族宛に年賀状を出せるよう支援している。お墓参りや温泉に行きたい等の利用者からの希望は、家族に伝えている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) つつじユニットでは、時々入居者様と職員がいるんな話し合う機会を作り、入居者様同士で助け合える関係づくりを目指している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービスが終了してもその関係性が壊れない様にしている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 生活されるペースは一人ひとり違うので、その時の感情を受け止めて本人様の意向に沿えるように努めている。 (外部評価) 職員は、日々の中で利用者の状態把握に取り組んでいる。調査訪問時には、職員に「横にならせてほしい」「巻きずしがほしい」等と訴える利用者の様子があったが、職員は、普段の様子等も踏まえて利用者の状態を見ながら判断をしていた。	利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、こだわりや大切にしてきたこと、生活環境等を探り、情報を整理して支援に採り入れてほしい。理念の実践に向けた取り組みが期待される。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族様や本人様に生活歴を確認して、職員同士でその情報を共有している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 本人様の生活リズムが保てるように見守っている。職員でも情報共有をしているが、本人様にもその時々を確認している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 関係者でのカンファレンスを行い、本人様にとって何が一番大切か、解決すべき課題が何かを話し合っている。本人様にもそのカンファレンスに参加してもらえるようにもっと声掛けをしていきたい。 (外部評価) 職員が把握した利用者の希望を踏まえて、カンファレンスでケアについて話し合い、支援に取り組んでいる。モニタリング表に、毎日〇等の印を付け、介護計画にそってケアが実践できたか確認している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 家族様にも閲覧してもらうことがあるので、文章は分かりやすく生活の実際が分かるように意識している。また職員間でその都度実践状況をチェックするよう心掛けている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 夢企画として、入居様がやりたいことを支援する取り組みを行っている。一人ひとりが満足できるような内容を模索している。その時のニーズにこたえていけるようにしていきたい。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 外出行事でドライブや興味の持てるものを提供できるように努めているが、時間の都合で支援が思うようにできていない。地域資源ももっと活用して楽しみをもっといただけるように努める。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人様、家族様の意向を第一に考えかかりつけ医と柔軟な対応をしていただけるように情報の共有をしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>それぞれの希望する医療機関で、往診や受診ができるよう支援している。受診は家族が付き添うが、都合に応じて管理者が支援している。必要時には、管理者が直接医療機関に連絡して利用者の状態を聞いている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>現在施設内の看護師の配置はないが、かかりつけ医の看護師等へその時の体調や精神面の状況を伝えて指示を仰いでいる。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>施設管理者が窓口となって他の医療機関との協力体制を築いている。退院後の生活が安心して続けられるようにも努めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族様に説明を行い、職員間で情報共有し管理者やその他関係者へ随時報告している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用契約時に説明を行っているが、家族は「今すぐのことではない」と思っていることが多く、状態変化時に再度詳しく説明している。又、医療機関とも話し合う場を設けて、方針を共有できるよう支援している。この一年間では、状態が急変して事業所に設置しているAEDを使用し対応したケースがある。医療機関から終末期と言われていた利用者が、状態回復したようなケースがある。少しずつでも食事できるように時間をかけて介助し、医療機関とも連携して支援した。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  社内研修や事業所内の研修で落ち着いて対応できるように努めている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  定期的な避難訓練を行っている。緊急連絡網を活用して実際に起こった時に迅速に対応できるように振り返りを行っている。  (外部評価)  年2回避難訓練を実施している。運営推進会議と併せて避難訓練を行った際には、メンバーには見学をしてもらい意見をうかがった。利用者や家族等も水消火器を使って消火活動を体験した。	    事業所の立地条件や利用者の状態等も踏まえて、避難訓練や地域との協力体制作りをより具体的にすすめてほしい。又、いざという時に慌てず対応できるように、日々の中でもすべての職員が防災意識を高められるような取り組みに工夫してほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  人生の先輩と言うことを念頭において尊厳を守れるように心掛けている。対応についてその都度話し合いをしている。  (外部評価)  食器洗いが役割になっている利用者があり、無理強いにならないように支援している。台所にはエプロンをかけている。誕生日には、お寿司か赤飯をつくってお祝いをしている。	    さらに、利用者主体の支援ができるように、生活の中で本人が選んだり決めたりできるような場面を増やしてほしい。そのような取り組みを重ねて、個々の生活への意欲や自信につなげてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  入居者様の思いを一番に受け止めチーム全体で支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  業務を優先してしまうことがあるが、本人様のその時の精神 状態を察知して見守る姿勢で臨むようにしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価)  一人ひとりのセンスや好みがあるので褒めたり一緒にコー ディネートしたりしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  テーブルやお盆拭きの得意な方がおられるので、自立支援 を促している。なるべく食後も職員ともにゆっくり過ごすよ うにしている。	さらに、利用者一人ひとりが食事を楽めるように工夫できる ことはないか、職員で話し合う機会を作ってほしい。利用者 の食事のこだわりや好み、習慣等を知ること努め、支援に 採り入れてほしい。
			(外部評価)  業者の作った献立で食材が届き、職員が調理をして提供し ている。ミキサー食等の食事の形態については、カンファ レンス時に話し合い支援している。ほうれん草が苦手な利用者 には、その他の食材を食べられるように声をかけていた。節 分等、季節の行事の折には、昼食を手作りにして利用者も かかわる場面をつくっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価)  健康チェック表があり、食事水分量の確認ができるよ うになっている。その表でバランスが保てるようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価)  ご自身で口腔ケアができる方は見守りしている、介助が必要 な方もできることはしていただけるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	ご自身でトイレへ行ける方は見守りを行い、介助が必要な方はその表情や行動の雰囲気察してトイレへお連れするようにしている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	運動やレクリエーションで体を動かして便秘の解消を支援している。下剤が必要な方はその都度主治医と相談している。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	入浴日は決めておらず、職員と入居者様と相談して意向を確認している。午前と午後の好きな時間も選んでいただけるように調整している。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	一人ひとりの時間を大切にされている方が多いので、その都度ご自分で居室に戻り休まれている。 不必要な対応は控えている。(安眠と休息の為)	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) それぞれの薬についてももう少し理解する必要がある。症状の変化を職員全員が観察し、その情報を共有する必要がある。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家事的な役割は主に女性入居者様をお願いしている。日課としてテーブル拭きやシーツ交換やカーテンの開け閉め、洗濯物たたみを楽しみながらできるように心掛けている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日の職員数で外出できないことがある。家族様が外出に連れ出してくださったり、可能な時はドライブや演劇鑑賞に出かけたりした。	
			(外部評価) 月1回の外出については、職員で情報を持ち寄り、利用者の状態を踏まえて行き先を決めている。現在は、職員の手不足のこともあり、個別で外出する機会は少ない。	今後、管理者職員ともに、利用者個々の希望に沿った外出支援に取り組みたいと考えている。夢企画の取り組みや個人の買い物等も支援していきたいと話していた。協力者等を増やして支援に取り組んでほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には施設で金銭は管理している。おこづかい程度は本人様が持たれている方もおられる。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状を書いたり、家族様やご友人との連絡をできるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂の座席とテーブルの配置は入居者様同士の相性などを考慮して決めさせていただいている。共有部分には季節の花を飾ったり季節を感じられるように壁画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関先にはプランターに花を植えている。夏には駐車場に出て花火をしたり、ベランダでシャボン玉をしたりして遊んでいる。又、秋祭りにはみこしが来る。調査訪問時には、居間にクリスマスツリーを飾っていた。又、テーブルを囲んで数人がぐらぐらゲームを楽しんでいた。別のテーブルでは、来年壁に飾るための干支の絵を塗っている利用者がいた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>テーブルと座席の位置をその都度考えて入居者様にもどこに座りたいか考えてもらっている。 ホールから離れた場所にソファを設置してストレスの緩和を図っている。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自宅からタンスや机を持って来られ慣れた物の中で安心できるように支援している。 随時家族様が必要なものを持って来られたりして居室の空間づくりを工夫してくださっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者によっては、家族来訪時一緒に、掃除や片づけ、衣替え等を行っている。好きな時間に居室で過ごす方については、暖房をつけて寒くないようにしていた。朝は窓を開けて換気を行っているが、居室によっては臭いが気になるようなところがあった。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>危険箇所をできるだけなくすようにしている。話し合いを行い、トイレや洗面台等、日頃使用しているところには目印を付けたりして分かりやすくしている。</p>	